

令和6年度

# 校長室だより5月号 No.2

宝達志水町立押水第一小学校 R6.5.31

## 運動会・PTAふれあい運動会 ありがとうございました

5月25日、絶好の天気にも恵まれました。創立60年目となる押水第一小学校の運動会の日です。このよき日に、たくさんのご来賓の方や地域の方をお招きして、押水第一小学校の最後の運動会を開催できたことを大変ありがたく思っています。

さて、運動会に先立って5月2日に全校集会があり、私はその時、子どもたちに「今月25日の運動会が、60年続いた押水第一小学校の最後の運動会になる」ということを、60年前に行われた落成記念運動会の写真を見せながら話をしました。

子どもたちは今年の運動会のスローガンを「心に刻もう！押水第一小学校 最後の運動会」として練習を頑張ってきました。赤組は「赤いドラゴンのように熱く闘え!」、白組は「白龍のように白く輝け!」をテーマに運動会当日も全力を出し切り、60年前の運動会もそうであったように、お互いに熱く闘い、児童一人一人が輝いている運動会にしてくれました。

運動会にご参加・ご出席をいただきました、地域の方々、ご家族の方々には、ご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。



60年前の落成記念運動会





## PTAふれあい運動会

25日は、午後からPTA役員の方が中心となって、「ふれあい運動会」を開催していただきました。PTA役員の皆様方には、お忙しい中、授業参観や奉仕作業等の機会を利用して、臨時にPTA役員会を開いて打合せをしていただいたり、各地区で選手選考に携わっていただいたりしました。おかげさまで当日もスムーズに進行していただき、最後のプログラムの「押水音頭」では、児童・保護者・地域が一体となって踊り、押水第一小学校の最後の運動会の名残を惜しんでいました。



## 運動会に向けて～押水音頭指導～

5月25日の運動会とふれあい運動会に向け、21日に地域の「学校支援ボランティア」の皆さんに来ていただいて「押水音頭」の指導をしていただきました。

「押水音頭」は地域に伝わる演舞で、押水第一小学校の午後の「ふれあい運動会」の最後にプログラムされており、例年、児童はもちろんのこと、保護者の方、地域の方、みんなで踊っています。

この日は、低学年と高学年に分かれて、地域ボランティアの方に指導していただきました。初めは踊りを少し忘れていた児童もいましたが、ご指導を受けながらみるみる上手になっていきました。

児童と一緒に踊ってくださったボランティアさんは、指先までともしなやかで、本当に素晴らしい踊りでした。本番の日も、「学校支援ボランティア」の皆さんには、一緒に輪に入ってもらい、「ふれあい運動会」のラストを盛り上げていただきました。



## 令和6年度 学校研究

押水第一小学校では、児童の主体性、問題解決をキーワードに、本年度の「研究主題」、「育成を目指す資質・能力」および「めざす児童の姿」を以下のように設定して、学校研究を進めてまいります。

### ○研究主題

「対話を通して、問題解決できる児童の育成」  
～学習者主体の授業を目指して～

### ○育成を目指す資質・能力

主体的に学ぶ力、問題発見・課題解決能力

### ○めざす児童の姿

- ・主体的に向かい、自ら考えて課題解決しようとする子
- ・友達と対話しながら考えを深める子

そして、この「めざす児童の姿」に迫っていくため、以下の具体的な手立てを研究の重点として取り組んでいきます。

#### 研究の重点

##### ○問題を解決する場の充実

##### 個の見取りと支援

- ・問題を解決するために、どのような解決方法を取り入れるか。  
～<自力での探求>と<考えの交流>～
- ・児童をつなぐ教師のアシスト。(共通の軸の意識)
- ・ふり返りの充実(内容知と方法知)。

## ～ 学校研究 提案授業【5月9日】～

上記の学校研究の方針を受け、実際の授業像を全職員で共通理解するために、5月9日に仲島教諭が提案授業を行いました。5年理科「植物の発芽と成長」の授業です。

本研究授業の重点の具体は、以下の通りです。

植物の発芽に必要な条件を調べる実験の方法を考える際に、児童が考えようと思う条件の実験から考え、協働で解決するようにする。また、その際に児童の様子を見取り、個々に合った支援や声掛けを行う。

文部科学省が打ち出した「GIGA スクール構想」により、日本全国の小中学校に一人一台端末が配備され、インターネット環境も整備されてきました。これにより令和の日本型教育が目指すところでもある「個別最適な学び」「協働的な学び」へ向けた授業改善が教育現場で進められてきています。

本時においても、仲島教諭は、児童一人一人が「どのような実験をすれば発芽に必要な条件が明らかになるか」といった課題意識をもって、必要に応じて仲間に働きかけながら探求していけるような授業となるよう計画しました。



子どもたちは、タブレットを持ちながら、「空気」「土」「日光」「温度」のコーナーに移動し、これらが発芽に必要なかどうかを調べるにはどうしたらよいかを思考し、仲間と助け合いながら実験方法を考えていきました。仲島教諭はICTを活用しつつ、子どもたち一人一人の思考の過程を見取り、子どもが適切に問題解決していけるように、個に応じた、よい考えの児童を紹介したり、ヒントとなる声掛けをしたりしていきました。



## 5月の学校の様子

### 遠足・1年生を迎える会

縦割り班でウォークラリー



### 遠足・1年生を迎える会

お弁当タイム



### 押水音頭指導（1～3年）

学校支援ボランティアの皆さん



### 花木見学（3年総合）



### 遠足・1年生を迎える会

縦割り班でウォークラリー



### 遠足・1年生を迎える会

6年生企画の縦割り班遊び



### 押水音頭指導（4～6年）

学校支援ボランティアの皆さん



### 花木見学（3年総合）

